



のなみだより



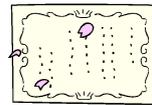
名古屋市立野並小学校



令和6年2月22日 NO.18

授業参観には、たくさんの方に参観いただきありがとうございました。子どもたち一人一人が、それぞれの方法で一年間の成長の様子を精一杯表すことができました。

さて、この時期は、進級を控えていることや寒暖差が激しいことなどから、子どもの心や体の状態は不安定になりがちです。子どもたちが自信と希望をもって前向きに学校生活を送ることができるよう、1月末から2月上旬にかけて教育相談週間を設け、担任が子どもたち一人一人の話を聞きました。引き続き、保護者の皆様と連携を取りながら、子どもたちを支えていきたいと考えております。お子様の様子でご心配な点や気になることがありましたら、ぜひご相談くださいますようお願いいたします。



3月の行事予定

S.C.・・・スクールカウンセラー来校日

1	金	諸費引き落とし 委員会活動	18	月	給食最終 卒業式準備
2	土				1～4年・6年4時間授業
3	日				5年5時間授業
4	月		19	火	卒業式(1～4年家庭学習日)
5	火		20	水	春分の日
6	水		21	木	4時間授業 給食なし
7	木	S.C.			S.C.
8	金	6年生を送る会	22	金	3時間授業 給食なし修了式
9	土				大掃除
10	日		23	土	学年末学年始休業開始(～4/7)
11	月	交通安全感謝の会	24	日	
12	火		25	月	
13	水	S.C.	26	火	
14	木	S.C.	27	水	S.C.
15	金		28	木	
16	土		29	金	
17	日		30	土	
			31	日	

★2月29日(木)の分団児童会について★

年度末を迎え、各分団では6年生が卒業し、新しく1年生が入学してきます。それに伴い、班を編制し直したり、集合場所を変更したりします。

2月29日(木)の分団児童会で、子どもたちに確認・指導をした上で、3月1日(金)から新しい班編制で登校します。

2月29日(木)の分団児童会の内容を、お子様から確認していただきますよう、お願いいたします。



★新2～6年生 4月当初の学校行事予定★

※週間課程は令和5年度と同じです

- 8日(月) 入学式(新2～6年生 家庭学習)
- 9日(火) 着任式・始業式 2時間授業 給食なし
※朝は分団登校後、新学年の靴箱に靴を入れ、新学年の教室に入ります
持ち物：筆記用具、連絡帳、上ぐつ、名札
- 10日(水) 分団児童会 3時間授業 給食なし
- 11日(木) 3時間授業 給食なし
- 12日(金) 4時間授業 給食開始(新2～6年のみ)
1年生を迎える会
- 15日(月)～18日(木) 4時間授業(給食あり)
- 18日(木) 新6年 全国学力学習状況調査
- 24日(水) 学級写真撮影
- 26日(金) 授業参観(5限13:40～)・学級懇談会(6限14:35～)・PTA総会
※開催方法等の詳細につきましては、来年度改めてお知らせします。



★5月以降の学校行事予定★

- 5月1日(水) 遠足 給食なし 弁当 ※雨天中止
- 5月25日(土) 運動会(5月27日(月)振替休業日 予備日5月29日(水))
- 7月8日(月)～12日(金) 個人懇談会
- 8月8日(木)～10日(土) 新5年中津川野外学習
- 10月16日(水)・17日(木) 新6年修学旅行(新6年家庭学習日10月18日(金))

★避難訓練★

1月21日(水)、休み時間中に地震が発生したときに、それぞれの場所で自分の身の安全を守る訓練と安全な場所へ避難する訓練を行いました。昨年度は、冷静に行動する点において少し課題が見られましたが、今年1月に発生した能登半島地震の影響もあり、子どもたち全員が冷静に素早く行動することができていました。

2月21日(水)、朝の学習の時間に、緊急地震速報の発表を想定した避難訓練を行いました。子どもたちは、素早く反応し、自分の身を守る行動ができていました。訓練終了後、校長から、今年1月に発生した能登半島地震を例に出して、自分の身を自分で守ることの大切さについて話をしました。

今後も、自然災害から自分の身を自分で守ることができるよう繰り返し指導をしていきます。

★学校関係者評価★

2月15日(木)に、学区の方、学校医、PTA役員などで構成する学校評議員による学校関係者評価委員会を開き、今年度の学校教育活動について振り返りました。

会議では、学校努力点のICTを活用した授業研究の取り組みに対し、よい評価をいただきました。また、ICTの基礎的なスキルや情報モラルに関して各学年で目標を設定して指導する方法を今後も継続したほうがよいというご意見をいただきました。その他、学校における働き方改革を保護者・地域で協力しながら後押ししていくことや新しい教育方法への理解をみんなで深めていくことの必要性、保護者もタブレットを使って児童が使用しているアプリに触れる機会をつくれるとよいなど、様々なご意見をいただきました。いただいたご意見を参考に、次年度のよりよい学校教育活動に生かしていきたいと思っております。